

令和8年度

有機農業課程（有機農業アカデミー）

第1期生

＜中期日程＞

学生募集要項

新築の教育棟&機械保管庫（イメージパース）



新設のほ場と施設で
土づくりからの有機農業を学べる学校

兵庫県立農林水産技術総合センター

兵庫県立農業大学校

〒679-0104 加西市常吉町 1256-4

TEL (0790) 47-1551 FAX (0790) 47-1772

<http://noudai.hyogo-nourinsuisangc.jp>

目 次

I	兵庫県立農業大学校有機農業課程（有機農業アカデミー） 中期日程 学生募集要項	
1	募集の目的	1
2	アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	1
3	募集課程、募集人数及び方法、修業年数	1
4	入学試験（中期日程）	2
II	参 考	11

令和7年度 兵庫県立農業大学校現地説明会等開催予定

※不測の事態により日程を変更することがありますので、事前にホームページでご確認願います。

1 現地説明会

- 【日 程】① 令和8年1月10日（土） ② 令和8年2月7日（土）
ともに 10:30～12:00（受付 10:00～）
【内容等】・有機農業課程（有機農業アカデミー）概要、カリキュラム等説明
・実習ほ場・施設等の見学
【会 場】 兵庫県立農業大学校（加西市常吉町 1256-4）
【その他】 各自防寒対策のうえご参加ください

2 オンライン説明会

- 【日 程】① 令和7年12月19日（金） ② 令和8年1月7日（水）
③ 令和8年1月23日（金） ④ 令和8年2月4日（水）
各回 19:00～20:00
【内容等】・有機農業課程（有機農業アカデミー）概要、カリキュラム等説明
【その他】 実施日前日に、登録いただいたメールアドレスにアクセス URL を
送付しますので、19時までにアクセスしてください。

〔申込方法〕

現地説明会は希望日の3日前、オンライン説明会は希望日の2日前までに、右記のQRコードから申し込んでください。



I 令和8年度（2026年度）兵庫県立農業大学校

有機農業課程（有機農業アカデミー） 学生募集要項 中期日程

1 募集の目的

本県の農業振興に必要な人材となる農業後継者及び農村地域の指導者にふさわしい人材の養成確保を図る。

次代の農業を担い、地域における農業の振興等に指導的役割を果たす感性豊かな人材を養成する。

2 アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

次のような学生を求めます。

- (1) 農業の生産技術や経営を学ぶ上で必要な基礎的学力と知識を身につけている人
- (2) 有機農業に関心を持ち、自らが実習ほ場を管理できる基礎的な農業技術や知識を有している人
- (3) 地域の農業者と連携して技術向上を図るなどの協調性や熱意を持つ人
- (4) 身につけた技術や知識を活かして、有機農業を実践する担い手や指導者等として本県農業の発展に貢献しようとする意欲がある人

3 募集課程、募集人数及び方法、修業年数

課程	定員	募集方法	修業年数	今回募集人数
有機農業課程	10人	一般入学 (前期・中期・後期)	1年	(中期日程) 5名程度

※前期日程はR7.11.26に終了

※後期日程は「令和8年度 有機農業課程（有機農業アカデミー）第1期生 学生募集要項」
を確認

※中期日程で募集定員を満たしていない場合に実施します。

後期日程の実施の有無は、2月6日（金）10時に本校ホームページで発表します。

4 入学試験

(1) 一般入学試験（中期日程）

出願資格	<p>次の①から③のいずれも満たす者</p> <p>① 令和8年4月1日現在、学校教育法による高等学校を卒業した者又は令和8年3月卒業見込みの者、及び兵庫県立農業大学校長が高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者</p> <p>② 兵庫県の農業振興に強い関心を持ち、人物及び健康に優れた者</p> <p>③ 有機農業に関心を持ち、自らが実習ほ場を管理できる基礎的な農業技術や知識を有している者</p> <p>④ 併願可</p>
願書受付期間	令和8年1月5日(月)から1月20日(火)まで（土日祝日を除く）の午前9時から午後5時まで。郵送の場合は、1月20日(火)必着
試験日時	令和8年2月3日(火) 午前13時から
出願及び試験場所	兵庫県立農業大学校 〒679-0104 加西市常吉町1256-4
試験方法及び内容	筆記試験（小論文） 面接試験（志望理由、意欲など）
合格発表	令和8年2月6日(金) 午前10時
提出書類	<p>ア 入学願書</p> <p>イ 履歴書（本人自筆の上、顔写真を貼り付けること）</p> <p>ウ 志望理由書（自筆のこと）</p> <p>エ 農業経験等確認書</p> <p>オ 調査書（高等学校校長が作成し、巻封したもの）。調査書を提出できないときは、当該調査書に代えて次に掲げるいずれかの書類を提出してください。</p> <p>① 学業成績証明書</p> <p>② 卒業証明書</p> <p>③ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号。以下この項において「省令」という。）第10条第2項に規定する合格成績証明書（省令附則第3条の規定により読み替えて適用する同項の合格成績証明書を含む。）</p> <p>カ 令和8年度入学試験受験票</p> <p>※一般入試試験用（写真は履歴書に貼り付けたものと同一のもの）</p> <p>キ 受験票送付用封筒</p> <p>※郵送で提出する場合のみ（長形3号封筒に郵便番号、住所及び氏名を記載し、110円の切手を貼り付けたもの）</p>

(2) 入学考查料

入学考查料 2,200 円

※郵送の場合は郵便為替又は定額小為替

(ただし、願書受付期間の属する月の初日以降に振り出したもののみ有効。また、受取人指定欄、受領者欄等は一切記入しないこと)

※入学考查料は、願書受付後は返還できません。

(3) 入学願書の提出方法等

① 提出先

兵庫県立農業大学校 教務課

〒679-0104 加西市常吉町 1256-4

② 提出方法

入学考查料を添え、郵送(簡易書留又は書留)又は持参すること。

③ 願書等の書類の入手方法

インターネット上の本校のホームページからダウンロード可能

(4) その他

① 受験者で宿泊が必要な方は、原則、各自で周辺宿泊施設を手配すること。

② 昼食は各自で用意すること。

③ 受験会場が寒い場合があるため、各自暖かい服装で来ること。

(5) 受験に関する問合せ先

兵庫県立農業大学校 教務課

〒679-0104 加西市常吉町 1256-4 電話 0790-47-1551 FAX 0790-47-1772

(推薦入試及び一般入試教共通)

入 学 願 書

兵庫県立農業大学校の 有機農業 課程に入学したいので、
許可下さるようお願いします。

令和 年 月 日

兵庫県立農業大学校長 様

本 人 住 所

ふりがな
氏名

昭和・平成 年 月 日 生

電話 () -

電子メール

保 護 者 住 所

ふりがな
氏名

電話 () -

電子メール

備考 保護者の欄は、本人が 18 歳未満の場合に限り、記入してください。

(推薦入試及び一般入試共通)

履歷書

(令和 年 月 日現在)

ふりがな						写真はりつけ欄 1 正面上半身を無帽 で撮影したもの 2 縦4センチメート ル、横3センチメー トルのもの 3 提出の日前3月以 内に撮影したもの 4 写真的裏に課程及 び氏名を記すこと
本人氏名	昭和・平成 年 月 日生 男・女					
保護者氏名						
ふりがな						
現住所						
郵便番号	□□□ - □□□□	電話				

志 望 理 由 書

ふりがな	
氏名	

※有機農業課程の志望動機や学びたいことを400字程度で記述してください。

(400字)

[裏面あり]

1 農業経験の状況

農業経験年数	約 年	栽培面積		農地所在地	
体験した農地	所有農地・市民農園・その他()				
栽培経験のある品目					
有機農業での栽培経験	ある	・	ない	有機栽培した品目	

2 就農準備活動の状況

就農希望(予定)地域	県外の場合は都道府県名から記載				
研修状況	あり・なし				
	→	(研修先)	(時期) 令和 年 月から令和 年 月		
就農相談機関	市町村・JA・県関係機関・その他() ()				
相談状況	※簡潔に記載				

3 目指す進路

進路	兵庫県内での就農*・県外での就農*・他の就職 (独立・雇用) (希望地:) ()
----	---

*就農を目指す場合は以下を記載

栽培品目		目標(5年後) 経営規模	a
有機栽培と慣行栽培のバランス	有機(割)、慣行(割)		
経営開始の必要見込額	万円		
就農に向けた課題	※簡潔に記載		

農業経験等確認書

本校は、実習は場を個別管理する実習を行うため、一定以上の農業に関する知識と技術を有している方を求めていきます。

そのため、あなたの農業経験を把握するため、以下の事項の該当する項目（カタカナ）に○をつけてください（右欄の選択方法に従って記載してください）。

氏　名	
1 農作業（栽培）経験	
(1) 栽培経験年数	
ア 3年以上 イ 2年以下	<small>い ず れ か</small>
(2) 栽培場所・方法	
ア プランタや植木鉢での栽培のみ イ 庭の隅など小規模な家庭菜園で地植え栽培の経験がある ウ 市民農園を借りている（いた）：面積（　　m ² ） エ 農業経営体で正社員又はパートとして働いている（いた） オ 親族が兼業農家で農作業を手伝っている（いた） カ 親族が専業農家で自分は専従者になっている（いた） キ 自らが兼業農家である	<small>い ず れ か</small>
(3) 栽培したことのある品目	
ア 水稲のみ イ 野菜（品目：） ウ 無農薬・無化学肥料栽培の野菜（品目：） エ その他品目（豆類、麦類、果樹）	<small>該 当 項 目 す べ て</small>
(4) 農業機械・施設	
① 使用経験	
ア 乗用型トラクタを3年以上、毎年20a以上使用している イ 歩行型耕うん機又は管理機を3年以上、毎年2a以上使用している ウ その他の機械（田植機、コンバイン、バインダー）を3年以上、毎年2a以上使用している エ 農業機械を使ったことがない	<small>い ず れ か</small>
② 所有	
ア トラクター・耕うん機 イ パイプハウス ウ 倉庫 エ 刈払機	<small>該 当 項 目 す べ て</small>

(5) 行ったことがある作業内容等	該当項目すべて
① 播種・育苗	
ア セルトレイに播種したことがある イ ポット育苗をしたことがある ウ 購入苗しか使ったことがない	
② 小型機械・農具等の利用、成分量計算等	該当項目すべて
ア 草刈機（刈払機）を使っている イ 定植機を使っている ウ 専用機械（動噴等）の使用経験がある エ 肥料成分の施肥量計算や液肥や農薬の希釀が行える	
③ 収穫、出荷、販売	いずれか
ア 生産物の量を把握している（重さ、数量等）が販売したことはない イ 庭先販売したことがある ウ 公設・民設の直売所で販売したことがある エ 農協や卸、量販店に出荷販売したことがある	いずれか
2 就農への家族の理解	いずれか
ア 家族全員が理解し、手伝う意欲がある イ 理解はしているが手伝う意欲はない ウ 反対している	いずれか
3 免許の所持	該当項目すべて
ア 農業機械士 イ 大特（農耕車に限る を含む） ウ 普通自動車免許 エ 持っていないが開講前までに普通免許を取得予定 オ 何も持っておらず、かつ取得を予定していない	該当項目すべて
4 農地の確保状況	いずれか
ア 本人名義の農地がある イ 親族名義の農地がある（相続予定） ウ 借入地がある（農地バンク又は農地法の手続きによる） エ 確保できていない	いずれか
5 自らの有機農業を含めた営農（就農）のビジョン（簡潔に記載）	

[一般入学試験用（中期）]

----- (キリトリ線) -----

令和8年度入学試験受験票

フリガナ			※受験番号
氏名	昭和 平成 年 月 日生		
出身高校名		※入学考查料領収印	
写真はりつけ欄	1 正面上半身を無帽で撮影したもの 2 提出の日3箇月以内に撮影したもの 3 横3cm×縦4cmのもの		
※試験日 令和8年2月3日（火）			

(キリトリ線)

記入上の注意 1 ※は記入しないこと

2 写真は願書提出時に履歴書に貼り付けたものと同じものをはがれないよう貼り付けておくこと

参 考

1 本校学生の特典

- (1) 在学中に、次の資格、免許等の取得を積極的に支援する。
 - ア 大型特殊自動車運転免許（農耕用限定）
 - イ 危険物取扱者
 - ウ 農業機械利用技術者
 - エ フォークリフト技能、小型車両系建機運転技能、アーク、ガス溶接技能
 - オ 刈払（草刈）機取扱作業者
 - カ 日本農業技術検定
- (2) 日本学生支援機構の奨学金を受けることができる（一定の要件あり）。
- (3) 卒業後、1年以内に就農（独立就農または雇用就農）することが確実と見込まれる等、一定の要件を満たす学生は、就農準備資金の申請ができる。

2 授業科目

- (1) 共通科目（農産園芸課程野菜専攻と一緒に受講）
野菜栽培各論Ⅰ、野菜栽培各論Ⅱ、農業経営、農業簿記、農葉概論、農業機械Ⅰ、病害虫Ⅰ（病害）、病害虫Ⅱ（虫害）、環境創造型農業、鳥獣害対策
- (2) 専攻科目（有機農業課程のみで受講）
有機農業概論、土壤肥料、植物生理、生産工程管理（GAP）及び有機JAS、流通・販売・マーケティング、先進事例講義、地域農業校外学習、農業基礎・実技演習
- (3) 実 習
専攻実習、先進農家派遣実習

3 諸経費（令和7年度入学生徴収額）

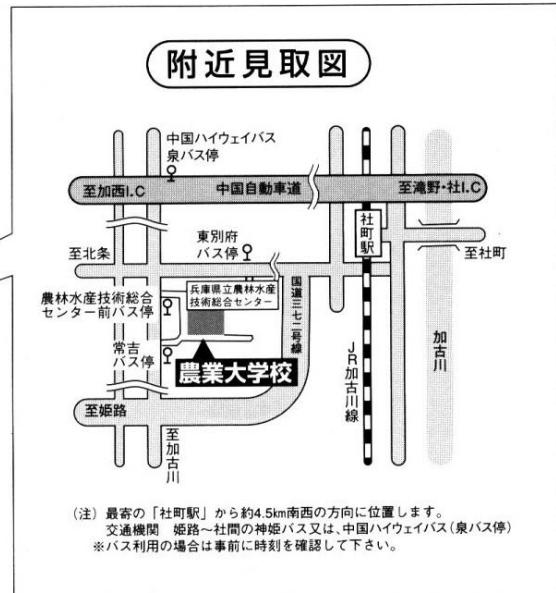
- (1) 入 学 金 5,650円
- (2) 授 業 料（1ヶ月） 9,900円（年118,800円）
- (3) 損害保険団体加入金（1年分） 6,000円
- (4) 有機農業課程互助費 50,000円（予定）（校外学習経費、農家研修時の機械破損修理費等）

この他、教科書代、作業服等実習教材費は、必要に応じて徴収します。

※上記(3)及び(4)は、変更する場合があります。

4 その他

- (1) 有機農業課程の学生は通学制となります（自動車、バイクの利用は教務課の許可を受けてください。）
- (2) 実習は場は、1年間、与えられた露地区画及びビニールハウスを個人で管理していくだけますので、土日、休日にも必要に応じて野菜の栽培管理を行ってください。



■兵庫県立農業大学校建物配置図

